

第 226 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2010 年 11 月 22 日(月) 17 時 30 分~18 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 著: 春日井 昇平 氏

(東京医科歯科大学インプラント・口腔再生医学分野・教授
歯学部附属病院インプラント外来)

タイトル: インプラント治療の進歩と再生医療との関わり

1965 年に Branemark によって骨と結合するチタン製のスクリュータイプのインプラントの臨床試験がおこなわれて 40 年以上が経過した。インプラント治療は確実な治療法となっており、他の補綴法に比較して義歯をしっかりと固定できることと、残存歯に負担を与えないことの 2 点において優れている。インプラント治療に関連する機器や治療技術の近年の進歩は著しく、極めて高度な機能的かつ審美的な治療が可能になっている。一方、失ったあるいは機能が低下した組織を再生する再生医療が注目されている。現時点において、インプラント治療を含めて材料を用いて失った組織を補填し機能を回復する治療が歯科の主な治療法であるが、近未来においては再生医療の歯科治療に占める割合の増加が予測される。本講演においては、歯科インプラント治療の最近の進歩の一部を紹介し、今後インプラント治療はどのように再生医療と関わっていくかについての私の予想を述べたい。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 高橋直之